

小中併設校である角川小中学校には2回にわたり勤務しました。

一度目は独身時代そして二度目は40代後半でこの学校が合併して閉校になるまで勤務しました。最後はほんとに少人数で和気藹々とした学校で過ごしました。

私は小学校、中学校両方の授業にでていました。養護学校、沼の台小中学校を合わせ小中併設校は3校勤務しています。一度目の勤務の時この角川地域のいろいろなデータを記録しました。積雪量、企業数や収益、地域ごとの年齢別人口、20年後二度目に来たときにその変化がわかりました。閉校が決まった時にそれを生かしてデータベースアプリを制作しました。同時にこの地域の伝統文化や民話も残しておきたいと思いました。

閉校する年にデータベースのアプリが出来たのでそれで自分たちの地域を学習しました。これが学習時の生徒たちの感想です。私も生徒達も統合して学校がなくなるという思いもありました。いつも真剣な生徒達でしたが、さらに真剣味があったとおもいます。

映像もたくさん残しておこうと思いました。角川は竜の角が折られて川になったという竜伝説の土地です。生徒達と竜の映像を制作しました。これで中学校の全校生徒です。

私は小中学校でやっている、地域伝統のまたぎ太鼓クラブの顧問でした。

このまたぎ太鼓も何かの形で残せないか、と思っていました。そこで竜伝説をアニメにして、その音楽をまたぎ太鼓にすることにしました。生徒の打つ太鼓や生徒達の息づかいまでアニメの音楽となっています。

角川小中学校 二度にわたって勤務  
最後は閉校まで

角川地区を調べデータベースを作成

人口・積雪量・産業・交通  
そして民話・伝承

閉校の年度 学習に活用

小規模併設校の長所を感じる

- ・地域との一体化
- ・小規模でできる利点

アプリは文部科学大臣賞を受賞



角川またぎ太鼓をアニメで残す



